

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防連絡車整備事業	竹田市	4,109,600	4,000,000	

（備考） 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	事業名	交付金事業の名称					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防連絡車整備事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		竹田市					
交付金事業実施場所		竹田市久住町大字栢木					
交付金事業の概要		<p>竹田市消防本部では、救急・警戒業務や各種調整等を行う際に用いる連絡車を、平成19年に購入し使用しています。車両が老朽化したことから今回更新を行いますが、当市が中山間地域であり狭隘な現場も多いことから、小型で機動性のある車両を整備する事業に交付金を充当します。</p> <p>消防連絡車整備（ワンボックス型軽自動車 1台更新） 乗車定員4名、全長3,400mm以内、全幅1,480mm以内、全高2,000mm以下、総排気量660cc以下、4サイクルガソリンエンジン（過給機付）</p>					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>公共施設整備計画書（令和5年度～令和7年度） （IV）生活基盤の分野 消防力強化対策 消防力強化対策として、消火栓や防火水槽の整備に取り組み、計画的に常備・非常備の消防車両等を更新して、地域防災体制の確立を目指します。</p> <p>目標：地域防災体制の強化 地域での救急講習・消防訓練の実施回数 60回（令和6年度）</p>					
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度	
		地域での救急講習・消防訓練の実施回数 60回	令和6年度の地域での救急講習・消防訓練の実施回数	成果実績	回	60	
				目標値	回		
				達成度	%		
		評価年度の設定理由					
		令和5年度内に事業が終了し、翌年度の実施回数を成果指標としているため。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
小型の車両を導入したことで、狭隘な場所に出動する場合でも早期に対応でき、消防体制の強化につながっています。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	
	消防連絡車の整備	活動実績	台	1	
		活動見込	台	1	
		達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和5年度				備考
総事業費	4,109,600				
交付金充当額	4,000,000				
うち文部科学省分					
うち経済産業省分	4,000,000				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
	消防連絡車の整備	指名競争入札	株式会社消防防災 大分本店 (大分県大分市)	4,109,600	
交付金事業の担当課室	竹田市消防本部 総務課				
交付金事業の評価課室	竹田市総務課				